



平成30年3月29日

各位

会社名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング
(JASDAQコード: 3350)
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久
電話番号 050-5835-0966

当社株式の業績基準に係る猶予期間からの解除に関するお知らせ

当社は、本日、有価証券報告書を提出し、平成29年12月期において営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローがプラスを計上したことから、業績基準に係る上場廃止の猶予期間から解除されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 対象となる法定開示書類

第19期 有価証券報告書（自平成29年1月1日至平成29年12月31日）

2. 業績基準を上回るに至った経緯

当社は、平成28年12月期を含めて4期連続で営業損失及び営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスを計上したことから、平成29年3月30日に株式会社東京証券取引所が発表したとおり、有価証券上場規程第604条の2第1項第2号に定める上場廃止基準に係る猶予期間入り銘柄となりました。

当社は、当該状況を改善すべく、平成29年2月1日に赤字であった音楽事業を営む連結子会社の全株式を売却し、業績好調なホテル事業に全ての経営資源を充当して、同事業の強化に努めてまいりました。その結果、当社グループの収益力は大きく改善し、平成29年12月期連結決算において営業利益25,368千円（前事業年度は△768,282千円）、営業活動によって獲得した資金129,454千円（前事業年度は△627,010千円）となり、営業利益及び営業活動によるキャッシュ・フローの黒字化を達成することができました。

3. 今後の見通し

次期（平成30年12月期）においても、当社は、引き続きホテル事業に特化して、同事業のより一層の拡大に注力してまいります。

新規ホテルの開発状況につきましては、「レッドプラネット札幌すすきの南」が平成30年6月

開業予定、「レッドプラネット札幌すすきの中央（仮称）」が平成31年8月に開業予定となっております。

また、事業拡大のための資金調達の一環として、当社は、平成30年2月27日付「ゴールドマン・サックスとの不動産セールアンドリースバック取引に関するお知らせ」及び平成30年3月16日付「(開示事項の経過) ゴールドマン・サックスとの不動産セールアンドリースバック取引に係る信託受益権譲渡契約及び建物賃貸借契約締結、並びに特別利益の計上に関するお知らせ」で開示したとおり、ゴールドマン・サックスが新規に設立した合同会社リオ・グランデとの間で、浅草、那覇、名古屋並びにすすきの中央のホテルに係る信託受益権譲渡契約及び建物賃貸借契約を締結いたしました。当該4ホテルの運営は、当社が20年間の賃貸借契約を締結し引き続き行っていくとともに、本取引からの売却収入を再投資して日本各地で新たなホテルを建築し、更に事業展開を加速させていく所存です。

なお、平成30年12月期の連結業績予想については、上記セールアンドリースバック取引の影響等を考慮して現在精査中であるため、確定次第すみやかに開示いたします。

以 上